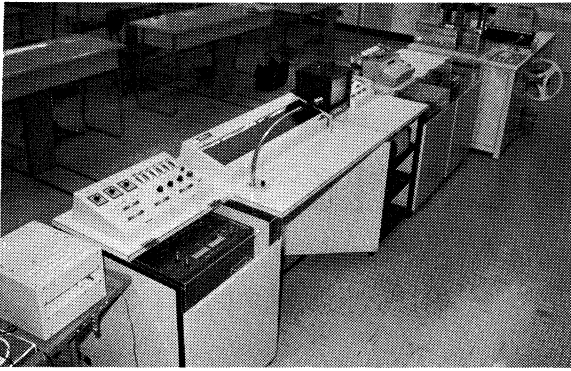


教育工学

研修施設の紹介

広く教育工学施設という場合は、L
 やコンピュータも含むのであるが、
 ここでは、教育センターが行っている



▶ 集団用ティーチングシステム

教育工学講座関係の施設（以下教育工
 学研修施設と言う）について紹介する。

一、施設の概要

教育工学研修施設は、第一とう（本
 館）四階に教育工学研修室、同準備室
 暗室があり、五階にはスタジオがある。
 教育工学研修室には、教育の現代化
 の動向に基づいて、新しい集団学習の
 方法を研修するための当センター用と
 して設計したシステムが設備されてい
 る。

それは、次の装置で構成されている。
 (一) AVR C装置

十六ミリ映写機、八ミリ映写機、
 テロップ、スライドプロジェクター
 スクリーンの教材提示機器を集中的
 によりモートコントロールしながら、
 C C T Vカメラを通して教室内の四
 台のテレビに映し出す仕組みになっ
 ている。操作卓は、研修室内の教卓
 及び別室に設置されている。これら

の教材提示機器は、普通の機器のよ
 うに、単品として操作することもで
 きる。

(二) 集団学習反応分析装置

日立ES百型反応分析装置が設置
 されており、個人ごとの回答状況や
 正答率及び選択しごとの回答率が即
 刻表示される仕組みになっている。
 また、個人ごとの回答の記録や集団
 の反応状況の記録も同時にでき、授
 業分析の資料が得られる。

なお、この反応分析装置は、四十
 八人用五し選択で、回答表示パネル
 は、学習者別六ランプ表示になって
 いる。また、操作部には、思考時間
 セット用タイマー三、通過率セット
 三があり、自動操作が可能である。

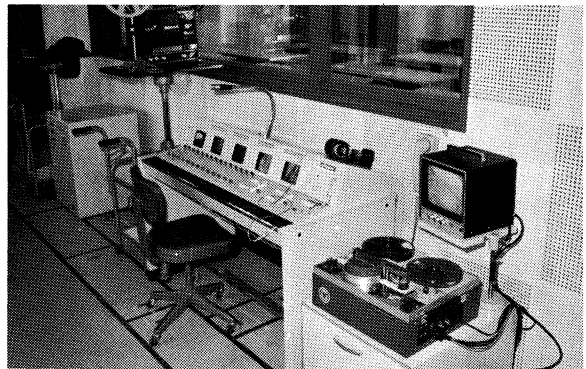
(三) システム制御装置

この装置は、先に述べたAVR C
 装置や集団学習反応分析装置及びV
 T Rを、テープに記録した制御信号
 によって操作し、授業を自動的に進
 行させるものである。なお、反応分
 析装置によって評価した結果が、設
 定した正答率（通過率）より低い場
 合は、自動的にプログラムの進行が
 停止して、教師の直接指導が別のプ
 ログラムに切り換えなければならない
 ようになってい

(四) 授業記録装置

研修室に設置してある三台のC C
 T Vカメラを、調整室（授業記録室）
 にあるAV調整卓よりリモートコン
 トロールして、三台のモニタテンピ

◀ 授業記録室（調整室）



に映し出す。それを特殊効果を用い
 て編集録画する仕組みになっている。
 また、研修室天井には十本の指向性
 マイクがありそれをミキシングして
 V T Rに同時記録できる。なお、授
 業者と記録者は、インタホーンで連
 絡し合える。

この調整卓からは、編集された映
 像や音声を隣の第四研修室のテレビ
 に送出されるので、隣室で授業の様
 子が観察できる。

(五) 教材編集装置

この装置は、AVR C装置の教材
 提示機器類をC C T Vカメラで集中
 的にコントロールしながら、ワイパ